

2019年11月4日

あおぞら投信株式会社

「えげれす(英吉利)の 4つの国の 人々に それぞれの思い 歴史動きて」

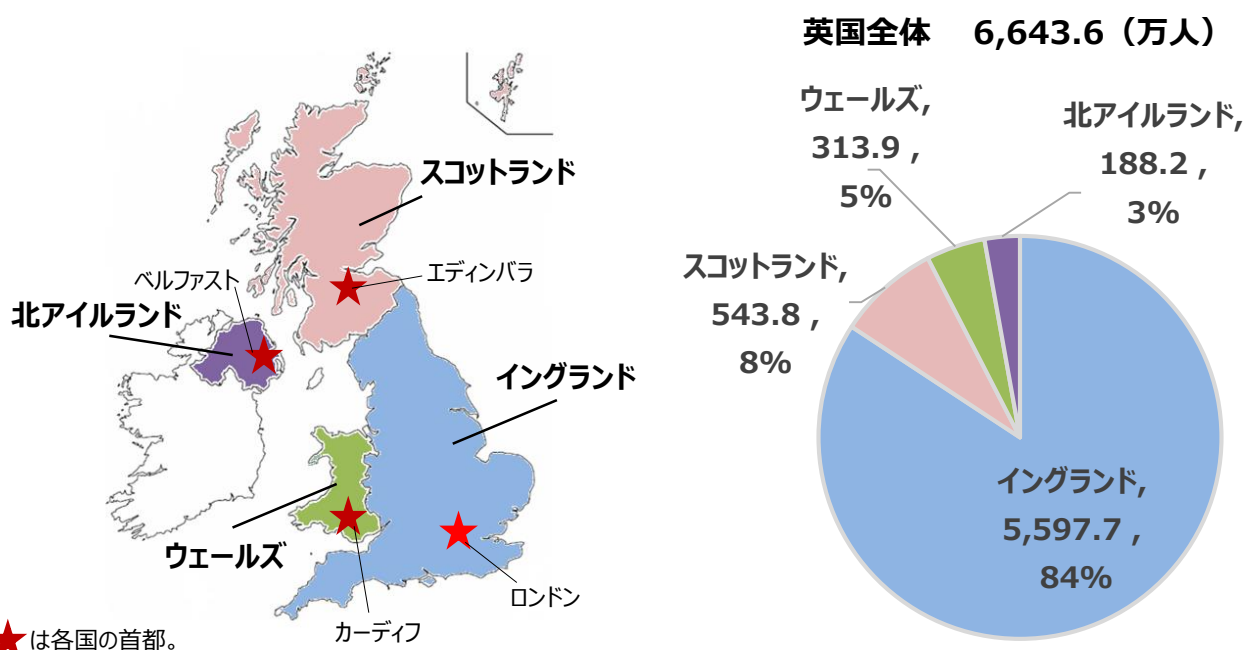
国際社会における組織の単位としては、Nation(国/国家)がもっとも使われるものです。日本では、国から県と地方の括りから市町村へと区分されていますが、実際には地域という曖昧な考え方もあります。それはその土地への帰属意識によるものです。その土地の領主が共通という意味では江戸時代の“藩”への帰属意識は未だに残っているものです。その先には学んだ学校が共通という同じ中等教育(現在の高校までを含む)への帰属意識も強いものがあります。では他の国ではどのような考え方があるのでしょうか。Brexitの主役である英国はなかなか複雑な国であることがわかります。

組織の単位としてUnion(連合)とは、何か複数の組織が繋がってできているものです。Unionとは、結合、組合など様々な集合体のことで、これが国家レベルで言うと1920年以降の“the Union”が英国のことであり、すなわちUnited Kingdom of Great Britain and Northern Ireland(UK:英国)を指します。そして英国にはEngland(イングランド)、Scotland(スコットランド)、Wales(ウェールズ)、Northern Ireland(北アイルランド)という4つのCountry(国/地域)が含まれているのです。現在の英国王室では、女王エリザベス2世の長男であるチャールズの称号はPrince of Wales(ウェールズ皇太子*)であり、イングランドとウェールズの国同士の歴史を表しています。国際的にはひとつの国である英国は、その国の中に4つの国を内包しているのです。すなわちそこには何らかの“Union”が存在するのですが、その考え方は歴史とともに変化をしている不思議なものなのです。これからの国際社会全体の中でもこのような変化が前提となると考えます。

*英国の称号のひとつで、王位の法定推定相続人に与えられる。“プリンス”は君主の意。

柳谷俊郎

英国の4つの構成国と首都・人口構成比 (2018年)



出所：英国国家統計局(Office of National Statistics/"ONS")および各種情報を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>